

ヴォーリス六甲山荘

登録文化財、今年も週末公開

関西学院や神戸女学院で知られる米国人建築家ヴォーリス設計の「ヴォーリス六甲山荘」＝写真＝が今年も公開されている。

1934(昭和9)年に別荘として建てられ、国登録文化財や近代化産業遺産などになっている。住む人の暮らしやすさ、夏に涼しく快適に過ごせる工夫が随所に見られ、築90年を経ても保存状況は良好だ。

2008年にNPO法人アメニティ2000協会が購入、保存。19年から隣地に「ヴォーリス記念・きょうだいの森」も開場。神戸市須磨区にあったヴォーリス建築「室谷邸」の回廊が移築されている。



公開は11月17日までの土日祝、11時～16時(入場は15時半)。5月25日、11月3日休館(臨時休館あり)。入館料500円。館内でボランティアによる案内、軽食・喫茶を楽しめる。同協会事務局 ☎0798・65・4303(清水さん)

神戸市立森林植物園

ツツジやシャクナゲ、緑に映える

風薫る季節。これから新緑の中、コバノミツバツツジやヤマツツジ、モチツツジなど32種類のツツジのほか、ツクシシャクナゲ、アズマシャクナゲなど7種類の日本原産種のシャクナゲが次々、色鮮



やかに開花する＝写真。5月31日まで「森のさくら・つづじ・しゃくなげ散策」を開催している。期間中の土日祝には自然と触れ合える森林ガイドツアーや植物講座などのイベントを実施。森林展示館前広場ではゴールデンウィーク中の3～5日、「春の草木と遊ぼう」やクラフト雑貨など多数のお店が日替わりで出店する「森のマルシェ」を開催。さらに3～4日は「森のコンサート」も。「chika et sae」によるボタンアコーディオンデュオ、「Stardust Project」によるステイラパンの演奏がある。☎078・591・0253

六甲山サイレンスリゾート

こいのぼりケーキ作りに挑戦

子どもたちがエプロンとコック帽を着てパティシエ姿に変身し、こいのぼりのケーキをつくるワークショップを催す＝写真。

対象は幼稚園年長～小学生。奈良・大和高原のブランド「さくら卵」で焼き上げたふわふわのスフレ生地に、北海道産生クリームをたっぷり巻いたロールケーキをこいのぼりに見立て、季節のフルーツで飾る。ケーキは各自持ち帰る。

27日、28日、5月4日、5日。各日2回実施され、いずれも14時、15時半。参加費は子ども1人5500円、2人目以降は1人2200円。ホームページや電話で予約する。



会場の同館は旧六甲山ホテルをイタリア人建築家ミケーレ・デ・ルッキ指揮のもとに修復、開業時の美しさを再現した。近代化産業遺産に認定された、写真映えする洋館でぜひ記念撮影を。☎078・891・0650



摩耶山「自然の家」野遊び拠点に



神戸で育った人なら一度はお世話になったであろう。摩耶山・徳高湖の湖畔にある神戸市立自然の家(同市灘区)。この春「そうぞうのすみか」と銘打ち、大きく生まれ変わった。おしゃれなカフェができ、宿泊施設は一部をプライベートに配慮した仕様に。学校園などの団体利用に加え、個人のハイカーも利用しやすくなった。オープン間もない14日、現地

リニューアル完了

オートキャンプ場、カフェ新設 個人利用しやすく



敷地内には、車を横付けしてキャンプができる電源付きのオートサイト、木々に囲まれ、静かに野営を楽しめる林間サイトなどが整備され、以前とほぼつかり別世界。ハイカーにとって一番ありがたいのは、自然の家前バス停近くから、徳高湖へ通り抜けできるようになった点。以前は車道を大きく迂回していたが、敷地内を通行できるようになった。湖畔にカフェができたのもうれしい。「シエールミエール」というおしゃれな名前で、店内からは大きなガラス越しにシエール池を見ながら、ゆったりと

へ行ってみたい。約半年間、工事のため立ち入れなかった湖畔には、天井高8mのシャープな三角屋根の建物ができ、テーブルとベンチも新設された。午後遅めの時間帯だったが、家族連れやハイカーでにぎわっていた。敷地内には、車を横付けしてキャンプができる電源付きのオートサイト、木々に囲まれ、静かに野営を楽しめる林間サイトなどが整備され、以前とほぼつかり別世界。ハイカーにとって一番ありがたいのは、自然の家前バス停近くから、徳高湖へ通り抜けできるようになった点。以前は車道を大きく迂回していたが、敷地内を通行できるようになった。湖畔にカフェができたのもうれしい。「シエールミエール」というおしゃれな名前で、店内からは大きなガラス越しにシエール池を見ながら、ゆったりと



定期的にメニューが替わる「そうぞうセット」

カヌーや最大8人乗りのメガスップなども用意され、簡単なレクチャーを受けてすぐに体験できるようなった。アーチェリー場、森の中のアスレチック「こどもシエール」、トランポリンもある。宿泊施設はテント持参のキャンプだけでなく、バックパッカーが気軽に泊まれるホステルも。グループ向けの個室のほか、ドミトリ(相部屋)の2段階ベッドには各ベッドにカーテンや電源、読書灯が備えられ、ゲストハウス仕様に。ワーケーションに使えるようなデスク付きの部屋もあり、六甲山縦走路を2日間に分けて歩くときに便利だ。秋には芸術家とコラボレーションした客室「アートキャビン」や、大ホールを備えた「メインキャビン」も登場予定で、さらに活用の幅が広がる。摩耶山で催される「マヤカシ」野宿部や、山のミーティングなどで度々お世話になってきた自然の家。これからはますます楽しくなりそうです。

☎090・5362・3965 (18～20時)

◆摩耶山リュックサックマーケット 5月18日11～16時、摩耶山翔星台(摩耶ロープウェイ「星の駅」)。聞かなくなったCD、読んでしまった本、自分で描いた絵、着なくなった服などをリュックサックに詰め込み参加する＝写真。当日受け付けで出店できる(飲食物は3週間前までに申し込む)。出店料無料。荒天中止。monte702 ☎078・882・3580(火曜定休日)



◆甲山ファミリー自然教室 5月19日10～14時半(随時受付)、

甲山森林公園管理事務所前集合(阪神西宮駅から阪神バス「県立甲山森林公園前」)。季節に合わせた工作＝写真＝や園内の樹木等の観察を楽しむ。講師は武庫新イチャークラブのメンバー。無料。親子対象。予約不要(当日14時まで受付)。雨天決行。甲山森林公園管理事務所 ☎0798・73・4600(9～17時)



◆やってみよう!キッチンリトグラフ 5月25日①10時半～12時、②14時～15時半、六甲高山植物園の小便僧広場集合(六甲ケーブル「六甲山上駅」から六甲山上バス「高

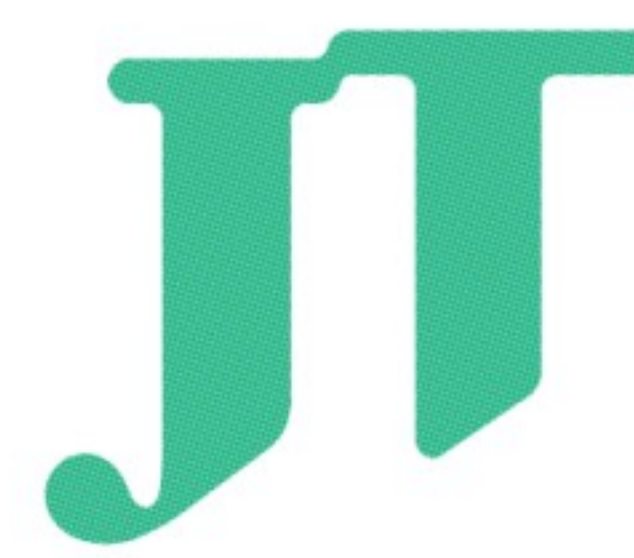


山植物園)。植物学者牧野富太郎も植物図を描くときに用いた、リトグラフを身近なキッチン周りの素材を使って体験する＝写真。講師は衣川泰典さん。各回15人。要予約(5月24日まで)。料金1800円。別途入園料が必要で、大人(中学生以上)900円、小人(4歳～小学生)450円。六甲高山植物園 ☎078・891・1247

催しの日程、内容などは変更される場合があります。お出かけ前に主催者にご確認ください。ホームページ http://653daigaku.com/

六甲山大学 ROKKO-SAN DAIGAKU 六甲山大学・情報凝縮サイト 653daigaku.com

わたしたちは 六甲山大学 の活動を応援しています



(順不同)